

CS62T

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS62T 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2011 年 9 月 25 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプター、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は1年間です。

【補足】

- ・本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	4
同梱品.....	5
概要.....	6
特長.....	7
システム要件.....	8
コンソール.....	8
コンピューター	8
ケーブル	8
OS.....	9
製品各部名称	10
製品本体.....	10
KVM ケーブルコネクタ	11
LED ランプ表示状態.....	11
セットアップ方法.....	12
接続図	13
基本操作.....	14
ポート切替	14
マウスによるポート切替.....	14
ホットキーによるポート切替.....	14
ホットキー一覧表	15
ファイルマネジメント	16
ファイル転送	17
ファイルの同期	18
キーボードエミュレーション	20
トラブルシューティング	21
工場出荷時のデフォルト設定.....	22

製品仕様..... 23

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



同梱品

CS62T 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS62T ファイル転送機能搭載ケーブル一体型 2ポート USB KVM スイッチ ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

概要

CS62T は旧モデルである「Petite シリーズ」を改良したもので、USB ハブポートとして機能するマウスポートを搭載した 2 ポート KVM スイッチです。接続コンピューター間では、このポートに接続された USB デバイスやファイルの共有が可能ですので、ノート PC とデスクトップ PC との間でファイルやフォルダーを同期させるのに適した製品です。

さらに、CS62T にはより強化された「ビデオダイナシンク™」テクノロジーを搭載しています。「ビデオダイナシンク™」テクノロジーとは、コンソールモニターの EDID を保存し、モニターの解像度を最適化するものです。

ホットキーや USB マウスからコンピューターの切替ができるので、KVM スイッチ本体は人目につかない場所に置いておきながら、机の上からポート選択ができます。このような切替方法に加え、マルチプラットフォームにも対応しているので、デスクトップ上での KVM 切替が非常に便利になりました。

USB 周辺機器の共有機能、USB によるファイル転送機能、マルチメディア用オーディオ対応、さらにユーザーフレンドリーな操作方法といった強力な機能を搭載した CS62T はデスクトップにおける究極の KVM スイッチと言えるでしょう。

注意: ファイル転送機能アプリケーションは Windows のみ対応しています。

特長

- ◆ 1 箇所の USB コンソールから USB インターフェースのコンピューターが操作可能
- ◆ USB ファイル転送機能 – 接続された Windows コンピューター間でファイルを転送。ファイルやフォルダーを同期化
- ◆ USB マウスポートを USB ハブや USB 周辺機器の共有に使用可能
- ◆ ポート切替方法 – ホットキー、USB マウス¹
- ◆ OS やキーボード言語はホットキーで選択可能
- ◆ オーディオ対応 – ベースレスポンスに優れた 2.1ch サラウンドオーディオ出力
- ◆ マルチプラットフォーム対応 – Windows、Linux、Mac 及び Sun
- ◆ ケーブル一体型のコンパクトなデザイン
- ◆ 解像度 – 最大 2048×1536; DDC2B 準拠
- ◆ ATEN 独自技術のビデオダイナシク™ テクノロジー – コンソールモニターの EDID を保存し、ブート時のディスプレイ問題を回避し、ポート切替時の解像度を最適化
- ◆ マルチメディアキーボード、ゲーミングキーボード及びワイヤレスキーボード対応
- ◆ 多機能マウス及びワイヤレスマウス対応
- ◆ Mac/Sun キーボードエミュレーション対応²
- ◆ コンピューターの動作状況がモニタリングできるオートスキャン機能搭載
- ◆ 電源状態探知機能 – 先に電源が入ったほうのコンピューターに自動切替
- ◆ ホットプラグ対応 – 製品本体の電源を切ることなく、コンピューターの接続、取り外しが可能

-
- 注意:**
1. マウスによる切替は、USB 3-key スクロールホイールマウスを使用した時に限りご利用いただけます。
 2. PC キーボードを使用した場合はキーの組み合わせで Sun/Mac キーボードの特殊キーが入力できます。Sun/Mac キーボードを使用した場合は Windows マシンでの特殊キーが効きません。
-

システム要件

コンソール

- ◆ 接続するコンピューターの最大解像度に適した VGA、SVGA またはマルチシンクモニター
- ◆ USB キーボード及び USB マウス
- ◆ マイクロフォン及びスピーカー (オプション)

コンピューター

製品に接続するコンピューターには下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ VGA、SVGA またはマルチシンクビデオポート
- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ マイクロフォン及びスピーカーポート (オプション)

ケーブル

CS62T は、KVM スイッチとケーブルが一体化されているので、ケーブルは不要です。

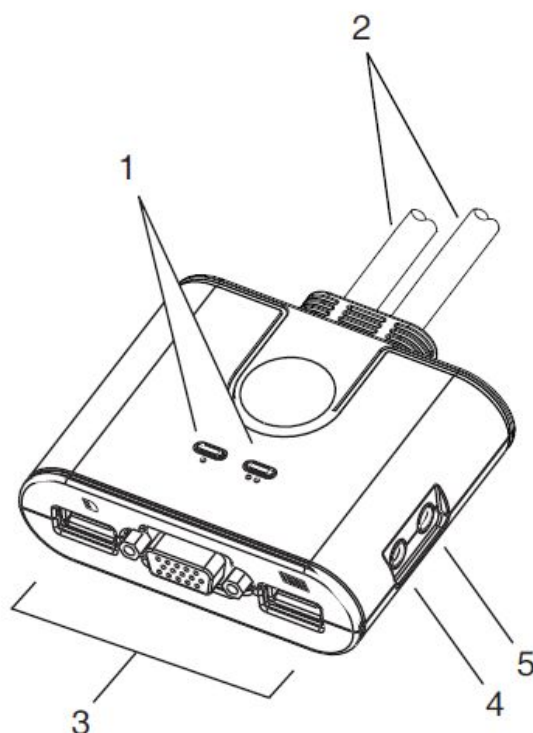
OS

OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	RedHat	9.0 以降
	SuSE	10 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
	Debian	3.1、4.0
	Ubuntu	7.04、7.10
UNIX	FreeBSD	3.51 以降
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	5.0 以降
Mac		OS 9 以降
DOS		6.2 以降

注意: ファイル転送機能アプリケーションは Windows のみ対応しています。

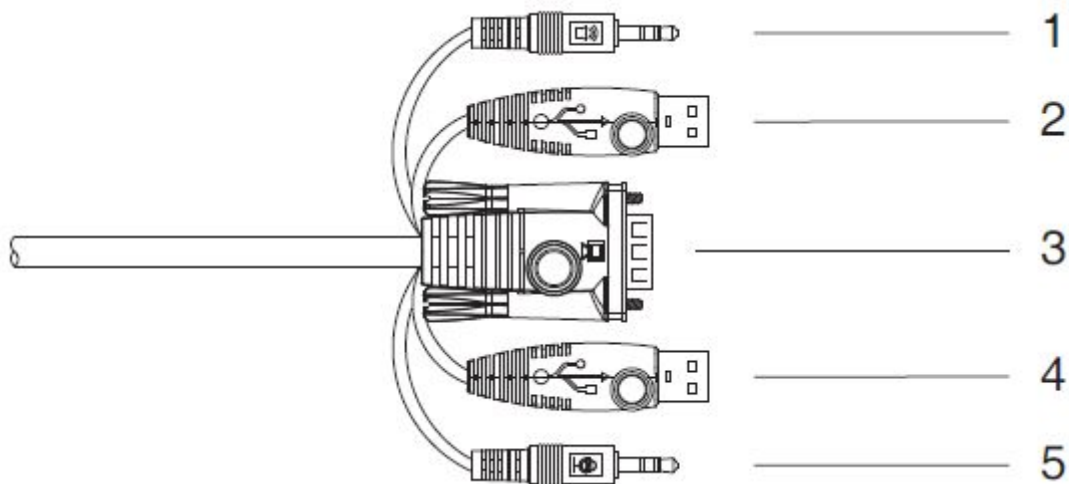
製品各部名称

製品本体



No.	名称	説明
1	ポート LED ランプ	KVM 操作が可能な対応するポートに接続されたコンピューターをポート LED ランプで表示します。詳細は p.11 「LED ランプ表示状態」を参照してください。
2	KVM ケーブル	このケーブルをコンピューターに接続します。
3	コンソールポート	USB マウス、モニター及び USB キーボードからのケーブルをここに接続します。各ポートのリアパネルにはどのポートかを示すアイコンが表示されています。 注意: マウスポートに USB 周辺機器を接続して共有させることもできます。その場合、USB ハブに周辺機器とマウスを接続し、その USB ハブを本製品のマウスポートに接続してください。
4	スピーカージャック	コンソールスピーカーをここに接続してください。
5	マイクrophonジャック	コンソールマイクrophonをここに接続してください。

KVM ケーブルコネクター



No.	名称	説明
1	スピーカー(グリーン)	コンピューターのスピーカーポートに接続します。
2	キーボード/マウス (パープル)	コンピューターの任意の USB タイプ A ポートに接続します。
3	ビデオ	コンピューターの VGA ポートに接続します。
4	ファイル転送 (ブラック)	コンピューターの任意の USB タイプ A ポートに接続します。 注意: コンピューターに USB ポートが 1 つしかない場合、コンピューターに USB ハブを接続し、その USB ハブにキーボード/マウスケーブル(パープル)を接続してからファイル転送ケーブル(ブラック)を接続してください。
5	マイクロフォン(ピンク)	コンピューターのスピーカーポートに接続します。

LED ランプ表示状態

状態	説明
オレンジ点灯/消灯	ポートが選択中/ポートが非選択中。
グリーン点灯	ポートに電源が入っているコンピューターが接続。
点滅(1 つ)	電源が入っているコンピューターに接続し、オートスキャンモード中、またはキーボード/マウスの USB 同期中。
点滅(全て)	ファイル転送/同期が動作中。

セットアップ方法



1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。
2. セットアップする全ての機器に適切な接地がされていることを確認してください。

CS62T をセットアップするには、次ページの接続図を参考にしながら、以下の作業を行ってください(図中の番号は手順番号に対応しています)。

1. USB キーボード、USB マウス及びモニターを CS62T の対応する各ポートに接続してください。

注意:

1. マウスポートに USB 周辺機器を接続して共有させることもできます。その場合、USB ハブに周辺機器とマウスを接続し、その USB ハブを本製品のマウスポートに接続してください。
2. ワイヤレスキーボードとマウスのコンボをご使用の場合、ホットキー機能を有効にするためレシーバーは CS62T のキーボードポートに接続してください。

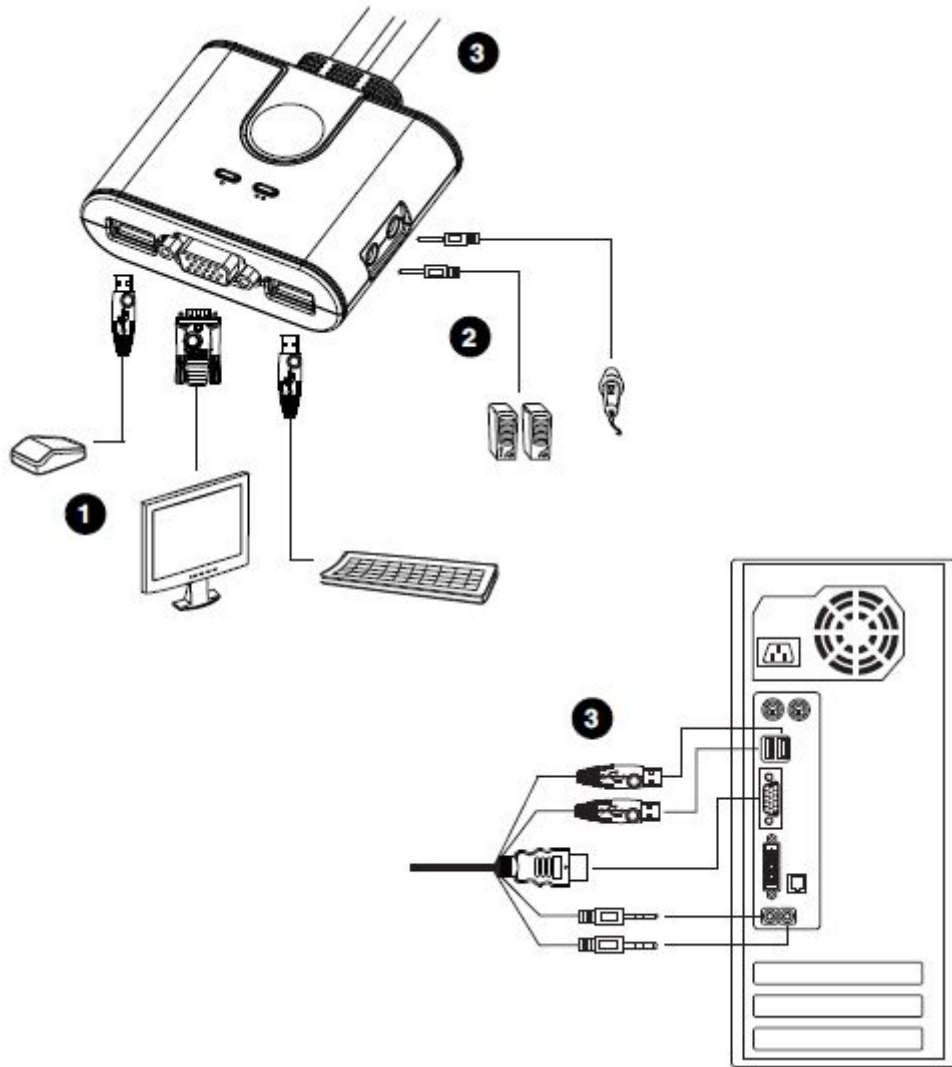
2. マイクとスピーカーをそれぞれ対応するポートに接続してください。

3. コンピューターの対応する各ポートに、KVM ケーブルのパープルの USB コネクターを接続してからブラックの USB コネクターを接続し、モニターコネクター及びオーディオコネクターを接続してください。

注意: コンピューターに USB ポートが 1 つしかない場合は、コンピューターに USB ハブを接続し、その USB ハブにキーボード/マウスケーブル(パープル)を接続してからファイル転送ケーブル(ブラック)を接続してください。

ケーブル全てを接続したら、コンピューターと周辺機器の電源を入れてください。CS62T の電源探知機能のデフォルトは、最初に電源の入ったコンピューターに接続するように設定されています。

接続図



基本操作

ポート切替

[Scroll Lock]キーを2回押すと、KVM 操作、USB デバイス及びオーディオが2ポート間で切り替わります。

注意: [Ctrl]キーに変更することもできます(p.15 「ホットキー一覧表」参照)。

マウスによるポート切替

2ポート間を切り替えるには、USB マウスのスクロールホイールをダブルクリックしてください。マウスによるポート切替機能はポート間を前後に切り替えます。

-
- 注意:**
1. この機能は、USB スクロールホイールマウスを使用した時に限りご利用いただけます。
 2. デフォルト設定は無効となっています。
 3. マウスエミュレーションが有効である場合に、この機能は対応しています。
-

ホットキーによるポート切替

ホットキー操作は全て、ホットキーモードを起動することから始めます。

1. [Num lock]キーを押したままにしてください。
2. [-](マイナス)キーを押してから指を離してください。
3. [Num Lock]キーから指を離してください。

注意: [Num Lock]キーの使用が他のプログラムの動作と競合する場合は、このキーの代わりに[Ctrl]+[F12]キーの組み合わせでお使いいただけます(p.15 「ホットキー一覧表」の[H]を参照)。

ホットキー一覧表

ホットキー		機能
[Num Lock] + [-]	[H]	ホットキーモード起動キーをデフォルト([Num Lock] + [-])キーと代替([Ctrl] + [F12])キーのいずれかに変更します。
	[T]	ポート切替ホットキーをデフォルト([Scroll Lock] [Scroll Lock])キーと代替([Ctrl] [Ctrl])キーのいずれかに変更します。
	[N]	キーボードホットキーエミュレーションを有効/無効にします。ゲーミングキーボードの使用時は無効にしてください。
	[M]	マウスエミュレーションを有効/無効にします。
	[W]	マウスによるポート切替を有効/無効にします。
	[E]	電源探知機能を有効/無効にします。
	[D]	ビデオダイナシク™機能を起動します。
	[F2]	Mac キーボードマッピングを有効にします。
	[F3]	Sun キーボードマッピングを有効にします。
	[F10]	使用 OS に合わせて自動的にキーボードマッピングをします。
	[F4]	テキストエディターを使用して現在の切替設定を一覧表示します。
	[F5]	USB キーボードとマウスをリセットします。
	[F6] [nn] [Enter]	キーボード言語を設定します。 注意: 「nn」は以下のキーボード言語を表す 2 桁の数字コードです。 33: US 英語 08: フランス語 15: 日本語
	[r][Enter]	ホットキーをデフォルト設定にリセットします。
[A]	オートスキャンを 5 秒間隔(デフォルト値)で開始します。	
[n][Enter]	オートスキャンの開始後、オートスキャンインターバルを変更します。 注意: 「n」は以下の 1~4 の数字です。 1 = 3 秒間、2 = 5 秒間、3 = 10 秒間、4 = 20 秒間	
[Scroll Lock][Scroll Lock]	ポートを切り替えます。	
[Esc]または[スペースキー]	ホットキーまたはオートスキャンモードを終了します。	

ファイルの管理

ファイル管理の操作を行うのに必要なファイルやドライバーはCS62Tのファームウェアに搭載されています。初めてファイル転送 USB ケーブルをコンピューターに接続する際には Windows がそれを感じ、インストールします。Windows ファイルエクスプローラーを開くと、「ATEN FM」と「Virtual Link」という新しい「ドライバー」が2つ表示されます。

注意： 「Virtual Link」はファイルマネジメントユーティリティのバッファーであり、それ以外の機能はありません。

ファイル管理を操作するには両方のコンピューターにてファイルマネジメントアイコンをクリックしてください。

注意： ファイル管理のメイン画面が表示されない場合は、表示されたフォルダーにあるファイル管理実行ファイルをクリックしてください。

ファイル管理のメイン画面が表示されます。



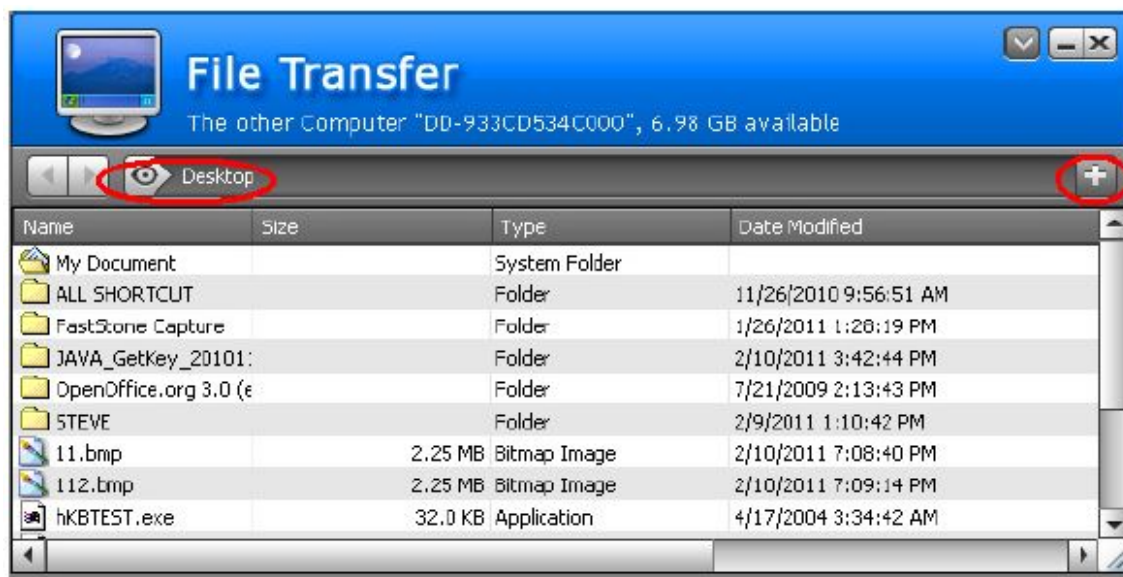
メイン画面には「File Transfer」(ファイル転送)と「File Sync」(ファイル同期)の2種類の操作オプションが表示されます。詳細は次項を参照してください。

注意：

1. 「File Transfer」及び「File Sync」はコンピューター1台だけ、またはコンソールとリモートコンピューターの両方で同時に実行することはできません。
2. ファイル転送を最良の状態で行うには、システムのメモリー容量が4GB以上あることを推奨します。

ファイル転送

ファイル転送を行うには、メイン画面の「File Transfer」ボタンをクリックしてください。ファイルがある他方のコンピューターのデスクトップ上のフォルダーが画面に表示されます。

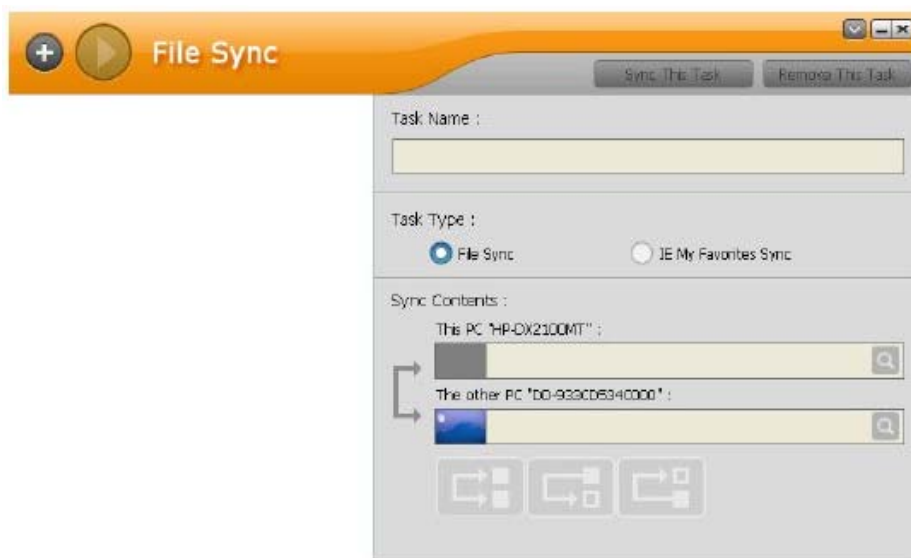


このフォルダーはシステムの他のフォルダーと同じ働きをします。システムに元々あるフォルダーと同じように、ファイルやフォルダーをこの画面のフォルダーとドラッグアンドドロップすることができます。

- ◆ 他方のコンピューターに他のファイルやフォルダーを移動するにはフォルダー名の左のボタンをクリックしてください。
- ◆ 現在のフォルダーに新たなフォルダーを追加するには、フォルダーネームバーの右にある「+」(プラス)ボタンをクリックしてください。

ファイルの同期

ファイルの同期を行うと、2 台のコンピューター間で全てのファイルを同期させることができます。「File Sync」の画面を使用して同期させたいファイルやフォルダーを設定します。



ファイル同期の各操作は「タスク」と呼ばれます。同期を開始するには、以下を行ってください。










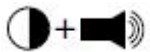





1. タスクを追加するには、左上の「+」ボタンをクリックしてください。
2. タスク名を付ける場合は、「Task Name」の欄にタスク名を入力してください。
3. タスクの種類を選択してください(デフォルトは「Folder Sync」(フォルダーの同期)です)。
4. ポート1のコンピューターにあるフォルダーを選択してください。
5. ポート2のコンピューターにあるフォルダーを選択してください。
6. 同期の選択オプションを選んでください。
 - ◆ 2つのフォルダーを合併する。別の言葉で言うと、ポート1のフォルダーからポート2のフォルダーへとファイルをコピーし、そしてポート2のフォルダーからポート1のフォルダーへとファイルをコピーします。そうすると、両方のフォルダーが同じものになり、各コンピューターに別々にあったファイル全てが両方のフォルダーに含まれることになります。
 - ◆ ポート1のフォルダーからポート2のフォルダーへとファイルをコピーする。但し、ポート2のフォルダーからポート1のフォルダーへはファイルをコピーしない。
 - ◆ ポート2のフォルダーからポート1のフォルダーへとファイルをコピーする。但し、ポート1のフォルダーからポート2のフォルダーへはファイルをコピーしない。
7. 選択したら、画面の右上にある「Sync This Task」(このタスクを同期する)をクリックしてください。

必要であれば、1 つ以上のタスクを設定することもできます。左パネルに一覧表として各タスクが表示されます。

- ◆ タスクを一つずつ実行するには、まず左パネルに実行したいタスクを選んでから、画面の右上にある「Sync This Task」(このタスクを同期する)をクリックしてください。
- ◆ 同時にタスク全てを実行するには、画面の左上(「+」ボタンの右側)にある「三角形」のボタンをクリックしてください。
- ◆ タスクを削除するには、まず左パネルに削除するタスクを選択してから、画面の右上にある「Remove This Task」(このタスクを削除)をクリックしてください。

注意: このユーティリティでは、各手順においてオンラインヘルプで、操作方法を説明します。

キーボードエミュレーション

PC 互換キーボード	Mac キーボード	PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Shift]	Shift	[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl]	Ctrl	[Ctrl] [F2]	Again
		[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [1]		[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [2]		[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [3]		[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [4]		[Ctrl] [F7]	Open
[Alt]	Alt	[Ctrl] [F8]	Paste
[Print Screen]	F13	[Ctrl] [F9]	Find
[Scroll Lock]	F14	[Ctrl] [F10]	Cut
	=	[Ctrl] [1]	
[Enter]	Return	[Ctrl] [2]	
[Backspace]	Delete	[Ctrl] [3]	
[Insert]	Help	[Ctrl] [4]	
[Ctrl] 	F15	[Ctrl] [H]	Help
			Compose
			

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決方法
マウスやキーボードが反応しない。	マウス及びキーボードのリセットが不適切。	コンソールポートからケーブルを抜いて、再度接続し直してください。
	KVM スイッチのリセットが必要。	使用するデバイスの電源を全て切ってください。本製品をコンピューターから外し、5 秒程経過した後で本製品を接続し直し、再度コンピューターの電源を入れてください。
USB デバイスが反応しない。	USBポートをリセットする必要がある。	デバイスの USB ケーブルを本製品のリアパネルにある USB ポートから外し、再度接続し直してください。
デバイスが認識されない (Windows 使用時)。	Windows のタイミング問題。	コンピューターの USB ポートから本製品のケーブルを抜いてください。Windows の「システムの設定」を開いて、「不明なデバイス」を削除してください。それから本製品を再度接続し直してください。Windows がデバイスを認識します。
[Scroll Lock]キーを2 度押しのホットキーでポートを切り替えることができない。	キーボードが[Scroll Lock]キーによる起動に対応していない。	ポート切替の代替キーに切り替えてください (p.15 「ホットキー一覧表」を参照)。
[Num Lock]+[-]キーを使用してホットキーモードが起動しない。	ホットキーモード起動の操作が間違っている。	[Num Lock]キーを押したまま、[-]キーを押してからその指を離し、最後に[Num Lock]キーから指を離してください。[Caps Lock]と[Scroll Lock]の LED ランプが共に点滅して本製品がホットキーモードであることを表します。
	キーボードが[Num Lock]キーに対応していない。	ホットキーモードの代替起動キーに切り替えてください (p.15 「ホットキーの設定」を参照)。

工場出荷時のデフォルト設定

設定	デフォルト
ポート切替	[Scroll] [Scroll]
ホットキーモード	[Num Lock] + [-]
オートスキャン表示時間	5 秒間
ポート切替キー	無効
キーボードマッピング	Windows 互換

製品仕様

機能		CS62T
コンピューター接続数		2
コンソール接続数		1
コンピューター側 対応インターフェース	モニター	D-sub15 ピンメス
	キーボード	USB
	マウス	
	ファイル転送	
	オーディオ	ミニオーディオプラグ
	マイク	ミニオーディオプラグ
コンソール側 対応インターフェース	モニター	D-sub15 ピンオス
	キーボード	USB
	マウス	
	ファイル転送	
	オーディオ	ミニオーディオプラグ
	マイク	ミニオーディオプラグ
ポート選択方法		ホットキー、マウス
コンピューター側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A オス×2
	マウス	USB タイプ A オス×2
	モニター	D-sub15 ピンオス×2
	スピーカー	ミニオーディオプラグ×2
	マイク	ミニオーディオプラグ×2
	ファイル転送	USB タイプ A オス×2
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1
	マウス	USB タイプ A メス×1
	モニター	D-sub15 ピンメス×1
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1
	マイク	ミニオーディオジャック×1

(表は次ページに続きます。)

機能		CS62T
LED	ポート選択/リンク	(オレンジ/グリーン)×2
ケーブル長	コンピューター側	0.9m×2
キーボード・マウスエミュレーション		USB
スキャンインターバル		3,5,10,20 秒(デフォルト 5 秒)
VGA 解像度		2,048×1,536、DDC2B 準拠
電源仕様		バスパワー
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース材料		プラスチック
重量		420g
サイズ(W×D×H)		82×69×25.2mm
同梱品		ユーザーガイド×1